

ゆし! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第7号

2013/8/2発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島



CONTENTS

- ◆ 給食に紫いもパンがやってきた！
- ◆ 教育委員会定例会開催状況
- ◆ Topics
- ◆ わだいの広場

パニパニ☆スクール

- ◆ 久松小学校「速読講座」

文化財を巡る

- ◆ 連載 市指定史跡「大川（ウプカー）」

早寝・早起き・朝ごはんがカギ！？ 宮古島市教育委員会は、 学力向上推進にこう取り組む！



生きる力

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちに身につけさせたい「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康と体力」の3つの要素からなる力。

確かな学力

「生きる力」を育むための1つの要素。知識や技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけて、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力等を含めた力。

平成25年度 学力向上推進における 主な取組事業

市教育委員会では、
7つの事業を中心とした取組みで学力向上を推進します

1 文科省教科調査官招へい事業

文部科学省調査官・学習調査官が授業改善の視点等について講演し、学校訪問で授業参観を行って指導助言を行います。今年度は、すでに小学理科・外国語、中学英語を開催し、今後は小学国語・算数、中学数学・英語を予定しています。



2 生活実態調査

小学校1年生以外の小・中学生の全児童・生徒を対象にした学校や家庭での様子に関する調査です。各学校で5月下旬に実施し、調査結果をもとに子どもたちの指導に役立てています。



i-check



3 標準学力調査

小学校2年生及び4年生（国・算）、中学校1年生（国・数・社・理）を対象に、各学校で5月下旬に実施しました。この調査結果をもとに、子どもたちの指導に役立てています。



4 検定料 半額補助事業

漢字検定、英語検定、数学検定に挑戦する児童生徒へ検定ごとに年間1回、半額の補助金が支給されます。

5 県外先進地視察 研修事業

視察研修を通して、実践研究の進め方や授業力の向上についての見識を高めます。今年度は、小学校教諭2名を派遣予定です。

6 琉球大学教育学部 アドバイザー スタッフ活用

市内小中学校にて、琉球大学教授を招へいし、子どもたちの授業に役立てる校内研修が企画できるよう予算化しました。

7 学力向上推進 ヒアリングの開催

市教委の学力向上の取り組み説明、幼稚園・小中学校の学力向上推進の進捗状況の確認、講演や事例発表等を通して今後の学力向上の推進を図ります。

学校・家庭・地域と 連携した学力向上の推進を

宮古島市教育委員会では、「幼児・児童・生徒一人一人の『確かな学力』を向上させ、『生きる力』を育む」ことを目標に、様々な取組みで学力向上の推進を図っています。



平成25年2月17日に開催された「宮古島市の教育を語る市民大会」では、平成24年度学力向上推進実践報告を行いました。そこで、実践報告の中で見てきた成果や課題等から、平成25年度は7つの事業を主な取組みとして、学校・家庭・地域と連携した学力向上の推進に取り組んでいきます。

課題

1. 学力調査等における正解率が低く、無回答率の割合が高い
2. 思考力・判断力・表現力などの育成を図る授業づくり
3. 早寝・早起き・朝ごはん等の生活リズムや家庭学習の習慣化が不十分である

平成24年度
学力向上推進
実践報告から
見えた



早寝・早起き・朝ごはん 生活リズムを確立し、学ぶ力を育む

教育の原点は「家庭」にあり、子どもの教育は家庭から始まり、子どもたちは家族との温かい関わりや体験から多くのことを学び、成長していきます。

そこで、家庭も「学びの環境」として学校と連携し、子どもたちの「すすんで学ぶ力」と「心身の健康」を育てていく必要があります。すすんで学ぶ力は、子どもたちが安心できる家庭で、安定したリズムの中、毎日学習に取り組むことで育ちます。そのためには、土台となる基本的な生活リズム「早寝・早起き・朝ごはん」を確立し、家庭学習を習慣化することが大切になってきます。

市教委では家庭教育の充実のため、生活リズムについての講演会の開催や家庭学習に関するリーフレットを作成し配布を予定しています。

宮古島の子どもたちの家庭学習の傾向

小学生

① 2年・3年生までは、全国に比べ家庭学習を「ほぼ毎日やる」「4・5日やる」の割合が高いが、4年生からは全国と反対で低くなっている。

② 「ほとんどしない」割合は、3年～6年生が全国に比べ高い。

中学生

① 「ほぼ毎日やる」割合は全国に比べて高いが、本市の状況として学年が上がるにつれ、家庭学習に取り組む割合が低くなっている。

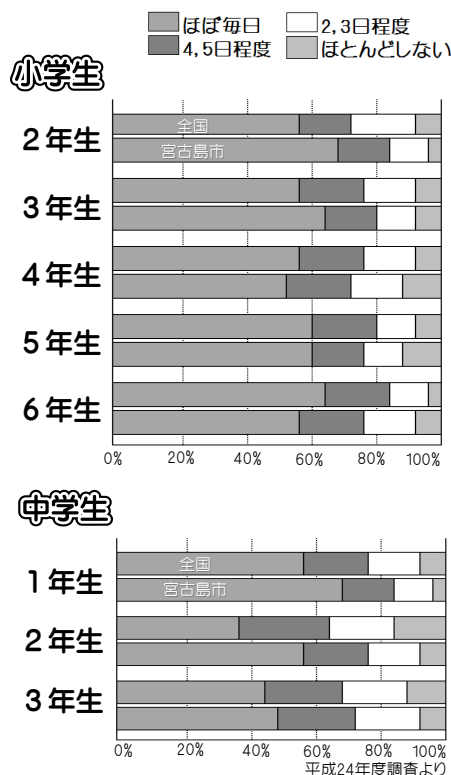
② 全国に比べ「ほとんどしない」割合が低くなっており、良い傾向となっている。

家庭を学びの環境に



家庭学習って週にどのくらいしているの？

家庭学習実態調査



- テレビを消して学習する
- 良い姿勢で学習する
- 机の上を整理・整頓する
- 学習を始めた時刻と終わった時刻をノートに記入する

家庭学習のポイント

教育講演会「睡眠と学力」

大人よりも子どもの方が睡眠不足を感じている！？

学校と家庭が連携して子どもたちの基本的な生活リズムの確立と家庭学習の習慣化を推進し、家庭教育の充実を図るため「睡眠と学力」をテーマに教育講演会を開催し、多くの方に来場していただきました。

講師の笹沢吉明 琉球大学准教授が「寝る子はでいきやーないんどー」とおっしゃるように、規則正しい睡眠習慣はズバリ！学習意欲に影響があるとのこと。睡眠は、集中力などの脳機能や体力、精神の安定など心の健康に関連しているからです。

沖縄県の小中学生の学力と睡眠習慣の調査では、大人の55%が睡眠不足と感じているのに対し、小学生は59%、中学生67%、高校生74%と、大人よりも子どもの方が睡眠不足を感じている割合が多いという結果が出ています。

笹沢准教授によると「睡眠時間を減らして授業や勉強をすることはナンセンス」とのこと。しっかりと睡眠時間をとって、子どもたちが「もっとやりたい！」と自ら行動し課題に取り組むことが大事だそうです。

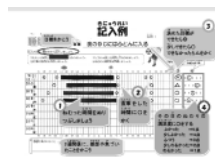
そのためには、規則正しい睡眠習慣と生活リズムをしっかりと身につけることが大切です。

睡眠日記

一目で就寝時間や起床時間、睡眠時間など自分の生活スケジュールが確認できる「睡眠日記」。生活習慣の見直しができ、睡眠の質を高め、学習意欲の向上がみられるようになりました。



笹沢吉明 琉球大学准教授



宮古島市学力向上推進委員会ってなに？

【宮古島市学力向上推進委員会】学校職員及び保護者や地域住民、教育行政などの関係者が、本市の園児・児童・生徒の学力向上を推進していくための方針を検討し、学力向上推進の一層の充実を図るため、年3回開催しています。

今年度は、5月27日(月)に、第1回学力向上推進委員会を開催し、平成25年度宮古島市学力向上推進要項や家庭学習リーフレット作成等、今後の学力向上推進について協議を行いました。



エコキャンドル製作・贈呈式

活動記

①



エコキャンドルを
作ったよ！の「慰霊の日・
ライトダウン
事業」の一環として、毎
年6月23日の「慰霊の日」に
合わせて各教室で「エコキャ
ンドル」を製作しています。エコキャンドル
は廃油から作られています。

今年はクリーンセンターの係員の方からキャンドル作りにも最適な広口瓶を選び分けていただき、廃棄された瓶が子どもたちの手によって美しいキャンドルとなりました。キャンドル製作の中で、子どもたちは、家庭から出るゴミの多さや瓶の

キャップが付いたままだったり、中身が入ったまま捨てられていたりなど、ゴミ分別の大切さやリサイクルについて学ぶことができました。

製作した約400個のキャンドルは、6月11日(火)の贈呈式で市長へ贈呈された後、市内の協力店舗へ配布されました。慰霊の日には、子どもたちが作ったキャンドルをとおして、戦争や命の尊さ、環境のことについて考えるきっかけとなりました。



子どもたち発信で住みよい宮古島
気持ちいい地球にしていこう！

リサイクルの心得

- ①ピンは中身を使いきって捨てる
- ②キャップをはずして捨てる
- ③少しでもゴミを減らす
- ④きちんと分別する！



快く協力してくださった
クリーンセンターの皆さん。



空きビンが、
ステキな
キャンドルに

今回の参加教室

平一・北・東・久松・宮原・西辺・
佐良浜教室のみなさん

ミヌズマ遺跡公開ガイド

活動記

②

4月14日(日)、久松放課後子ども教室にて、市教育委員会生涯学習振興課・久貝弥嗣さんが「記憶に残そう！ミヌズマ遺跡」をテーマに遺跡公開ガイドを行いました。

今日の公開ガイドは、平成24年度から発掘調査が行われていたミヌズマ遺跡が調査終了で埋め戻されることから、集落遺跡として市内最大規模のミヌズマ遺跡を子どもたちの記憶に残し、後生に語り継がれていくことを願って行われたもので、中学生や地域の方々も参加しての遺跡公開となりました。



学習支援活動

活動記

③

各放課後子ども教室では、高学年または中学校でつまづかないよう、遊びを交えながら少しずつ基礎学力をつけようと学習支援も行っています。どの教室もいつも大盛況で、子どもたちは色々な人と関わりを通して、授業や家庭では体験しないことに興味津々。好奇心が勉強のやる気を引き出し「もっと勉強したい！」との声が聞こえてきます。子どもたちの困り事を少しでも減らし、実り豊かな学童期を地域の大人も一緒に過ごしていきたいものです。



宮古島市

放課後子ども教室
活動記

実り豊かな
学童期を、

地域の大人と一緒に過ごす！

放課後や週末に教室などを活用して、
体験活動や地域住民との交流活動を行っている放課後子ども教室。
そんな放課後子ども教室の活動記を紹介します。



放課後子ども教室へのお問い合わせは、
生涯学習振興課(77-4946)まで。
活動内容の詳細は、
ブログでもご覧できます。
<http://sunakagi.ti-da.net/>





パニパニ☆スクール

久松小学校

HISAMATU PRIMARY SCHOOL

速読講座 朝の15分の速読講座で、 脳を活性化させる！

朝の活動で速読に取り組む久松小学校5年1組へおじゃましました。



平成25年度魅力ある学校づくり推進事業の一環として、市内小中学校の10校で「速読講座」に取り組んでいます。全国的にみても自治体が複数の学校にて速読を取り入れるのはユニークで珍しいそうです。

久松小学校では、朝のクリーン活動でカラダと頭を起こしウォーミングアップした後、5年生が週2回、15分の朝の活動で速読講座に取り組んでいます。

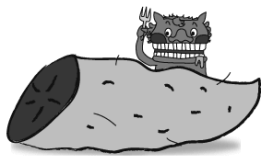
「声に出して読まないでね～」との呼びかけでスタートした速読講座。5年1組の子どもたちは、パソコンの画面いっぱいフラッシュのように表示される文章を真剣な目で追い、すばやく問題を解いていました。

子どもたちからは「ゲーム感覚で楽しい」との声が聞こえてきましたが、担任の下地成子先生は「速読だけではゲーム感覚で終わってしまう。速読と平行して読解力・漢字力・語彙力を高めていくことで、速読の効果が上がってくる」と、これからの速読の効果

を期待していました。

スタートして間もないながら、だんだん子どもたちに変化があるようで、読書活動の導入として読まれていたマンガ本から早く文章を読めるようにと意識的に活字のある本を選んで、「早く読めるようになった！」など、担任の先生へ声が届くようになっているようです。

根路銘和子校長先生は「現在は5年生だけであるが、今後は3年生または4年生から始めると、もっと国語力への効果が期待できるのでは」と低学年からの導入にも意欲的でした。



給食に紫いもパンがやってきた！^{7/9}

「紫いもパン」試食会

火

宮古島市立学校給食共同調理場は地元食材の利用度を高め、地産地消に貢献する目的で、7月9日(火)に「紫いもパン」の給食を平良・城辺・上野の各小中学校に提供しました。このうち北小学校では、下地敏彦市長など行政・教育関係者を招いた試食会が行われました。児童らによる「いただきます」の元気なあいさつで始まった試食会では、子どもたちが初めて食べる「紫いもパン」をおいしそうにほおばり、笑顔を見せていました。



いただきます！

もぐもぐ



「紫いもパン」ってどうやって作られているの？

宮古島産の紫イモのペーストと小麦を練り合わせて作られています。パンの中身は紫色をしています。



「紫いもパン」はどこで作られているの？

富士製菓製パン・大洋製菓製パン・渡久山製パンの三カ所で作られています。7月9日は全部で5820食も作られました。



どうして「紫いもパン」が作られたの？

6次産業化*を目指し、生産拡大に取り組んでいる宮古島産の紫イモを使用し、給食で消費拡大の後押しをするために紫いもパンが作られました。

* 第一次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第二次産業や第三次産業にまで踏み込むこと。

市指定史跡「大川（ウプカー）」―国指定史跡「大和井」追加指定へ―

平成二十五年六月二十一日、市指定史跡「大川」が、国指定史跡「大和井」へ追加指定される旨の答申がありました。今回は、この「大川」と「大和井」についてご紹介します。

大和井は、平良市街の東北に位置する井戸（洞井）で、『雍正旧記』（一七二七年）に記されている内容から、一七二〇年頃に掘られたと考えられています。井戸の周囲は大小の切石を円形に積み上げてあり、昇降の通路には石段が設けられています。伝承によればこの井戸は、首里王府派遣の在番役人など一部の者のみで使用し、一般人々には開放されなかったと言われています。また、かつては、井戸に至るまでに二ヶ所の門があつて、水守りもいたとの言い伝えがあります。大和井は、宮古島の人々と水との関わりあり、石工技術の見事さを示す石造遺跡として類例のないものとして、昭和四十九年六月一日に旧平良市指定史跡となりましたが、史跡としての重要性から国指定にすべきとの声が高まり、平成四年十二月十八日付、文部省告示をもって国指定史跡となっております。

平成二十五年六月二十一日、市指定

史跡「大川」が、

国指定史跡「大和井」へ追加指定される旨の答申が

ありました。今回は、この「大川」と

「大和井」についてご紹介します。

大和井は、平良市街の東北に位置す

る井戸（洞井）で、『雍正旧記』（一

七二七年）に記されている内容から、

一七二〇年頃に掘られたと考えられて

います。井戸の周囲は大小の切石を円

形に積み上げてあり、昇降の通路には

石段が設けられています。伝承によれ

ばこの井戸は、首里王府派遣の在番役

人など一部の者のみで使用し、一般の

人々には開放されなかったと言われて

います。また、かつては、井戸に至る



↑大和井

大川↓

今回、追加指定予定の「大川」は、掘削年代は明らかではありませんが、『雍正旧記』に「大川掘年数不相知曆代二成及大破候、康熙五拾六丁酉年修補馬之用水所」と記述されており、康熙五十六（一七一七）年に補修工事がなされていることから、一八世紀初頭にはすでに大川が存在していたことがうかがわれます。当時の人々の暮らしにとって、牛馬は重要な労働力でした。数多く存在する井泉の中で、牛馬専用を目的としたものは極めて稀です。戦後、水道の普及や牛馬飼育の激減により、大川を利用することがなくなり、何時しか土に埋もれ忘れ去られていきましたが、平成十六年度に地元住民からの聞き取りにより当該地の発掘調査を行ったところ、井戸の遺構がほぼ完全な姿で掘り出されました。その後、旧平良市文化財保護審議会の答申を受け、平成十七年五月三〇日に旧平良市指定史跡として文化財指定になっています。現在、平良地区に展開している歴史文化ロード「綾道」のコースにも盛り込まれており、気軽に散策する事ができます。

neo(ネオ)

宮古島市
歴史文化ロード
整備事業

neo(ネオ)
ギリシャ語で「新しい」、
英語では「復活」という
意味を持つ

伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島特異の歴史と文化」。今日まで語り継がれてきた先人達の叡智である文化財を復活させ、それらを巡る新たな観光資源の創造を図り、広く活用することを目的に名付けました。

市が展開している既存の歴史文化ロードは、現在平良地区の「綾道(あやんつ)北コース」のみで、このコースを拠点に旧5市町村の各地域に所在する文化財を新たな観光資源として活用すべく、ロマン溢れる「宮古らしさ」に特化した文化財散策コース等の整備を平成24年度から行っています。

この度、「綾道～砂川・友利コース～」の散策パンフレットが完成し、平成24年度の発掘調査にて約700年前のグスク時代に埋葬された人骨が発見された「友利元島遺跡」や昭和40年

まで生活の貴重な水資源となっていた「友利のあま井」などの文化財をイラスト付きで分かりやすく紹介しています。

各庁舎や平良図書館、中央公民館で配布しており、休日にこのパンフレットを片手に綾道～砂川・友利コース～を散策し、先人達の叡智によって守り伝えられてきた「文化」を感じてみてはいかがでしょうか。文化財を身近に感じ、文化財保護意識の向上につながることを期待しています。

うるか・友利の
クイチャーモイラストで紹介!!

TOPICS

平成25年度
海外ホームステイ事業補助金交付式

6/18 火

ハワイホームステイで
多くのことを学んでいます！！

6月18日(火)に城辺庁舎にて「平成25年度宮古島市海外ホームステイ派遣事業補助金交付式」を行い、18名の生徒(中学生12名・高校生6名)に補助金が交付されました。田場秀樹教育部長が「グローバルな世界では、様々な国の人々と話し合っ



抱負を話す下地美瑞希さん
(宮古工業高校2年)

課題解決していくため、英語スキルが必要になっている。これから宮古を背負っていく皆さんの活躍に期待している」と激励しました。派遣生徒は「宮古の良いところを伝え、ハワイと宮古の違いを楽しみたい」、「帰国したら他の誰よりも英語を話せるようになりたい」など、それぞれがハワイ州でのプログラムに向けて抱負を

表しました。

中には、「将来の夢が料理人で、海外でいろいろな国の食べ物を学びたくて、中学生の頃から英語に興味があった。高校生になったら絶対参加したかった」と、食べ物への興味が海外へ向き、今回の応募のキッカケとなった生徒もいました。

ハワイ州オアフ島・マウイ島にて8月18日(日)～8月30日(金)の13日間の日程で、英会話レッスンやスクール体験、ホームステイなどで英語や異文化に触れる予定です。



宮

宮古島市海外ホームステイ派遣事業

郷土文化や歴史、そして異文化に強い興味と関心をもった市内の生徒を対象に、広く海外での研修体験を通して、将来国際人として活躍すべき感性と教養を育てることを目的とした事業です。

慰霊の日関連特別展示

6/19 水 ~

「戦争と子どもたち」 6/30 日

市総合博物館にて、6月19日(水)～6月30日(日)の期間「戦争と子どもたち」をテーマに慰霊の日関連特別展示を開催しました。

満州事変から太平洋戦争終結までの「15年戦争」の流れをパネルにまとめ、戦前・戦時中の学校教育や強制疎開、強制動員等について紹介したほか、当時の教科書等の実物資料、写真パネル、戦争体験記を展示し、当時の子どもたちが体験した戦争の様子を紹介しました。

さらに、今回の展示では沖縄県平和祈念資料館より資料を貸出いただき、沖縄戦の生々しい写真パネルや手榴弾、小銃等の実物資料を展示・公開しました。

また、関連行事として6月22日(土)に開催した「戦跡巡り」では、講師の砂川玄正氏より旧日本陸軍中飛行場戦闘指揮所をはじめとした、宮古島市内の戦跡計8カ所を巡り、当時の様子を説明していただきました。

開催期間中には、市内小中学校の児童生徒が見学に訪れ、「戦争と関係ない多くの子どもたちが犠牲となってかわいそう」、「戦争は怖い」など多くの感想が寄せられました。



福嶺中学校「平和学習」



「戦跡巡り」

旧日本陸軍中飛行場戦闘指揮所

平成25年度

6/30

宮古島市社会教育団体研修会 日

6月30日(日)に、「平成25年度宮古島市社会教育団体研修会」を開催し、社会教育団体の皆さんをはじめ、社会教育員、自治会関係者の皆さんが参加しました。講師は、NPO法人調査隊おきなわの理事長である親川善一さんです。テーマに「プラス思考で地域づくり～余所で自慢できるうまり島」として



NPO法人
調査隊おきなわ
親川善一理事長

あげ、100年前の沖縄にあった共同売店を地域づくりの先進事例として紹介しました。さらに、「お金ではなく、心をつなげる地域づくりを目指して孫や子孫が住みたいと思う地域はどうすれば作られるのかを考えることが大切だ」と講演して下さいました。

終了後は、各テーブルで自分たちの活動紹介や、地域の良いところ、悪いところについて意見を交換し、参加者の皆さんからは「地域を活性化することが宮古島を元気にすること、何が自分に出来るかを見つめ直すことが出来た」「世代を超え、色んな話し合いが出来て良かった」等の声がありました。



宮古島市社会教育団体ブログ開設しました↓
<http://mykj5syakaikyouikuda.blog.fc2.com/>



トレーニング講習会 「筋力トレーニング教室」

6/19(水)～7/13(土)に、宮古島市陸上競技場トレーニング室にて、「筋力トレーニング教室」を開催しました。全4回で開催された教室には約70名の方が参加し、有酸素トレーニングや筋力トレーニングにおける安全かつ効果的な器具の使用方法などについて、健康運動指導士の和田芳勝氏により丁寧な指導をしていただきました。参加した方からは「今まで間違った使い方をしていた」、「初めてトレーニング室に来たが、定期的に通いたい」など筋力トレーニングへの関心がさらに高まった様子でした。また、「ヨガ、ストレッチ、ノルディック、水泳」などの教室の開催を希望する声もあり、今後は市民の皆様のニーズに応えられるよう取り組んでいきたいと考えております。



和田先生から
アドバイス



過去3ヶ月の私生活が現在の体型(体力)である



トレーニングを続ける秘訣は
“無理なく楽しく”行っていくことがポイント!



運動の効果は3ヶ月後が目安である



平成25年度教育委員会 定例会の開催状況

第2回(5月22日)、第3回(6月27日)定例会教育委員会が開催されました。第3回定例会では宮古島市伊良部B&G海洋センター施設の休館についての議案等が審議されたほか、6月定例会一般質問要旨・答弁や一般会計補正予算(第1号)等について報告が行われました。

また、定例会終了後は、伊良部地区にある教育関連施設の視察を行い施設の現状等の把握に努めました。

審議事項

- ・宮古島市学校給食衛生管理委員会、献立作成委員会及び物資選定委員会の組織及び運営等に関する要綱について
- ・宮古島市文化ホール条例施行規則の一部を改正する規則について
- ・宮古島市教育行政推進連絡会議設置要綱の一部を改正する訓令について
- ・宮古島市伊良部B&G海洋センター施設の休館について
- ・宮古島市教育委員会人事異動の承認について



8月・9月の行事予定

○第25回企画展「宮古の織物」

7月20(土)～9月1日(日)/総合博物館

○少年団体リーダー研修会

8月6日(火)～7日(水)/県立青少年の家

○マウイ島ホームステイ派遣事業

8月18日(日)～8月30日(金)

○第3回子ども博物館「葉脈の標本づくり」

8月17日(土)・18日(日)/総合博物館

○おはなしたまてばこ・おはなし会

平良図書館/毎週土曜日(8/31休) 城辺図書館/第1日曜日

市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール

市総合体育館 H25.6.29現在

8/2(金)	夏休み卓球教室(半面 13:00～17:00)
8/3(土)4(日)	第40回全宮古ハンドボール選手権大会
8/11(日)	第40回宮古体育大会バドミントン競技
8/17(土)18(日)	第40回宮古体育大会バレーボール競技
8/24(土)25(日)	平成25年度宮古体育大会ハンドボール競技
9/1(日)	第13回毎日新聞杯レディースバドミントン大会
9/8(日)	第40回宮古島市体育大会卓球競技
9/21(土)	平成25年度 高校新人体育大会

陸上競技場

8/9(金)～11(日)	2013年度陸上教室(17:00～)
8/17(土)	10RUN(8:00～21:00)
8/21(水)	東保育所運動会リハーサル(9:00～12:00)
8/30(金)	東保育所運動会準備(17:00～)
8/31(土)	東保育所運動会(午前中)
9/13(金)	宮古地区高等学校秋季陸上競技大会
9/25(水)	第21回宮古地区老連GG大会

※ 施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。

市民スポーツ課 ☎73-4469 (月曜休み)

編集後記

久松小学校5年1組さんの速読講座におじゃました際、私の中では「速読=教室の机に座って読むもの」と思っていたのですが、案内されたのはパソコン教室でした。子どもたちが、パソコンに素早く映し出された文章を黙々と目で追う光景に、ものすごく圧倒されました。速読は脳の活性化を促すとのことなので、今後の学力向上が期待できそうです。

編集担当:教育総務課